

交通安全かわら版

令和 8 年 3 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 8

～ 令和 8 年 2 月末の交通死亡事故 ～

令和 8 年 2 月末の交通死亡事故の特徴【発生件数 21 件、死者 21 人】

- 本県の死者 **21人** 前年比 **+3人** **全国ワースト第4位**
 - ◇ 人口10万人当たり 0.75人 (**全国ワースト第2位**)
 - ◇ 自動車1万台当たり 0.08人 (**全国ワースト第3位**)
 - ◇ 道路千キロメートル当たり 0.38人 (**全国ワースト第14位**)
- 全国の死者数 **389人**、前年比 **-34人** (増減率 **-8.0%**)

- ◆ 「高齢者」の死者数 **13人** (構成率 **61.9%**)、前年比 **+2人** (**全国ワースト第2位**)
- ◆ 「飲酒運転」による死亡事故は **2件**、前年比 **±0件**
- ◆ 「高齢者」が第1当事者となる死亡事故は **12件**、前年比 **+4件**
- ◆ シートベルト非着用の死者数は **5人**、前年比 **+2人**
- ◆ 県央地域で **7人** (構成率 **33.3%**)



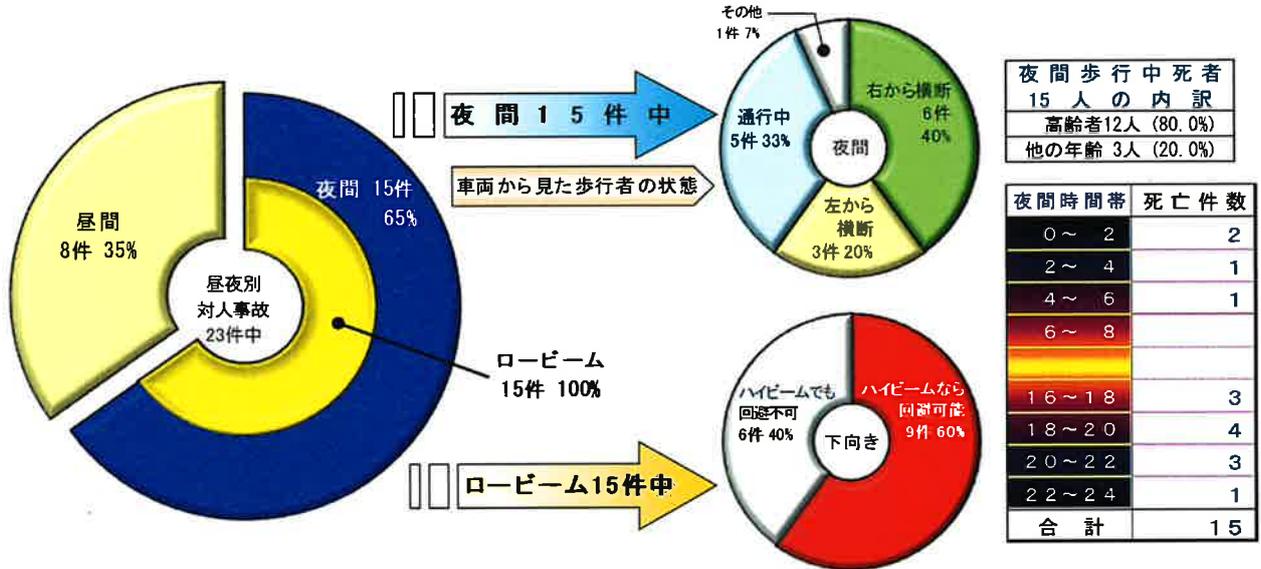
【交通死亡事故の主な特徴】

(1) 市町村 ※高速道路を除く	◇ 多発市町村 笠間市(+2), 取手市(+2), 筑西市(+1), 古河市(+1), ひたちなか市(±0) 各2人
(2) 第1当事者の年齢層 (件)	◇ 70歳以上 9件(+4) ◇ 高齢者 12件(+4), 青少年 1件(±0)
(3) 第1当事者の違反 (件)	◇ 右側通行(+3), 前方不注意(+2) 各4件
飲酒運転 (件)	◇ 飲酒運転による交通死亡事故 2件(±0)
(4) 状態	◇ 四輪車 9人(-2) うち同乗 0人(-3), 歩行者 8人(+2) うち横断中 5人(±0) 自転車 3人(+3), 二輪車 0人(±0)
(5) シートベルト	◇ 四輪乗車中 9人 うちシートベルト非着用 5人(55.6%), 着用 4人(44.4%) 非着用5人中、4人(80.0%)は着用していたら助かった可能性あり
(6) 時間・昼夜	◇ 時間帯別 16～18時(+1), 18～20時(+2) 各3人 ◇ 昼間 10人(+2) 構成率 47.6%, 夜間 11人(+1) 構成率 52.4%
(7) 事故類型	◇ 人対車両 8人(+3), うち横断中 5人(±0) ◇ 車両相互 10人(+5), うち正面衝突 5人(+4) ◇ 車両単独 3人(-5), うち工作物 3人(-4) ◇ 列車 0人(±0)
(8) 死者の年齢層	◇ 80歳以上 6人(+1), 70歳代 5人(+1) ◇ 高齢者 13人(+2) 構成率 61.9%
特記事項	◇ 令和8年2月中の死亡事故(発生件数11件, 死者数11人)の特徴 ・ 第1当事者の年齢層別事故件数では、高齢者が6件(54.5%) ・ 死者の状態別では、四輪車が4人 ・ 死者の年齢層別では、高齢者が8人(72.7%)

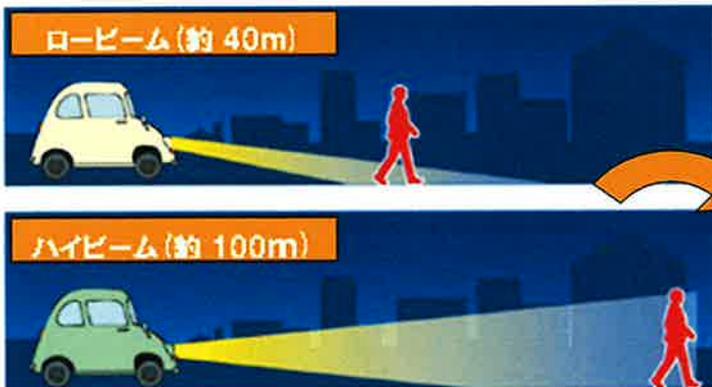
- ※注 1 「青少年」とは16歳以上24歳以下、「高齢者」とは65歳以上をいう。
2 「飲酒運転」とは原付以上が第1当事者となった事故で、その運転者が飲酒していた場合をいう。
3 ()内は前年比
4 数値はいずれも速報値

3月は午後5時00分を目安に ヘッドライトを点灯しましょう！

夜間、車両(原付以上)が歩行者と衝突する交通死亡事故(令和7年中・15件15人)



運転者はヘッドライトのこまめな切り替えを！



ロービームでは約40m先に立っている人の足下しか照らせません。
時速60キロで走行していた場合、人だと認識できたときにはブレーキを踏んでも間に合わない可能性が高くなります。
ハイビームを活用し、上向きにできないときは速度を控えましょう。

歩行者・自転車利用者は反射材の着用を！

明るく目立つ色の服装やLEDライト等をプラスすれば、さらに効果アップ！

歩行者

自転車

自分の存在をアピールすることで暗い時間帯の交通事故被害を防止しましょう！

